

平成30年度 第1回山北町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成30年11月19日(月)
開会：11時00分 閉会：11時55分

- 2 開催場所 山北町役場401会議室

- 3 出席者(敬称略)

- (1) 委員 6名

山北町長 湯川 裕司

山北町教育委員会教育長 石田 浩二

山北町教育委員会教育長職務代理者 岡部 達也

山北町教育委員会委員 野地 泰次

山北町教育委員会委員 小菅 正子

山北町教育委員会委員 今村 敏雄

- (2) 事務局 2名

参事兼企画政策課長 瀬戸 靖

企画政策課副主幹 平野 泰輔

- (3) オブザーバー 2名

学校教育課長 渡辺 伸二

生涯学習課長 辻 和雄

- 4 傍聴者 0名

- 5 会議概要

- 1 開 会 参事兼企画政策課長
- 2 町長あいさつ 湯川町長
- 3 教育長あいさつ 石田教育長

4 議 題

(1) 山北町教育大綱の改訂について

湯川町長	それでは、議題（1）山北町教育大綱の改訂について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	資料1、資料2により説明。 総合計画後期基本計画の素案については、来年1月初めの完成を予定しております。教育大綱の改訂につきましても、並行して検討を進めていきたいと考えておりますので、次回の総合教育会議で、事務局から改訂案をお示しさせていただき、委員の皆様からご意見を伺いたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
湯川町長	ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問がありましたら発言をお願いいたします。
石田教育長	アンケート結果によると、教育に関心のある方が50%となっていますが、他項目と比較して50%という数字が高いのか低いのか、そのあたりの分析についてはいかがでしょうか。
事務局	アンケート調査については、様々な分野についてご質問させていただきましたが、本日、他項目の結果を持ち合わせておりませんので、次回の会議でお示しさせていただきたいと思います。 なお、回答数は年齢区分によって差がありましたので、50%という数値が高いのか低いのかは一概には言えないと考えております。 しかしながら、全体的に見ると、子育てを終えた高齢者の回答数が多い中で50%という結果については、教育に対する関心は高いと分析しております。
石田教育長	問題のあるなしに係わらず、教育への関心が高いということは良いことであると思います。
湯川町長	私は、山北町の特色あるものとして、森林教育について新たな教育大綱に盛り込んでいきたいと考えております。山北町は広大な森林を有していますので、

山北の子ども達にも小さい頃から森林について関心を持っていただきたいという思いがあります。国では、平成 36 年度から森林環境税が導入されるとともに、来年度から各自治体に森林環境譲与税が配分される予定となっており、使途として森林教育に充てることは可能と聞いているところです。現在、川崎市と水源交流を行っていますが、都市部の小学生が山北町を訪れ、森林教育を受けていただくといったスキームも将来的には考えられるのではないかと思います。

森林整備や木材利用、森林環境教育など、山北町はまだまだ可能性があるので、このことについて皆様のご意見をいただきたいと思います。

石田教育長

鹿島山北高等学校では、独自の設定教科として、環境教育の中で森林分野について講師をお招きし、座学で学び、実体験する、そのような教育を行っていますので、それらも参考とさせていただき、山北町の小中学生に対してどのような森林教育ができるか検討していきたいと思います。

今村委員

都市部から訪れる子ども達だけでなく、地元の子も達が、今住んでいる町が有する山や森林について学ぶということは、大変意味のあることだと思います。現在は、共和地区の方々など年齢の高い人達が頑張っていますが、これからは若い年代の人達に頑張ってもらいたくないといけない、特に将来を担う小中学生が、自分達の住んでいる町の山をどのように管理していくのか考えていかなければいけないと思いますので、災害のことも含め、小中学生の頃から森林教育を組み込んでいくことは非常に重要なことであると思います。山北町ならではの内容であるので、自分もチェンソーアートという分野で協力できたらと思います。

岡部委員

先日、清水地区で水源交流事業がありまして、森林の大切さについて職員の方が模型などを使って説明してくださったのが非常に分かりやすく、横浜や横須賀の子ども達も大変興味をもって聞いていましたので、地元の子も達にも学んでいただきたいと感じたところです。

野地委員

山北町では、これまでも「水源のまち」を一つのキャッチフレーズとしてう

たってきていますが、せっかく森林教育を行うのであれば、言葉だけでなく子ども達や若い世代に、中身もしっかりと伝えていけるような教育を行っていく必要があるのではないかと考えます。

「海は山がつくる」という言葉があるように、山がしっかりと管理されていなければ海もきれいにならない、そのようなことを小さい頃から学ぶことで、自分達が住んでいる山北町に誇りを持ち、それがやがて定住に繋がっていくのではないかと思います。

湯川町長

教育委員の皆様にもご賛同いただきありがとうございます。森林環境譲与税が活用できるのであれば、有効に活用していきたいと思います。

それでは山北町教育大綱の改訂については以上とさせていただきます。

(2) 教育の諸課題について

湯川町長

次に、議題（2）教育の諸課題について、石田教育長より説明をお願いいたします。

石田教育長

まず私からは、夏季休業の短縮について説明させていただき、その後、各委員より日ごろ考えていることなどについてご発言いただければと思います。

資料3 山北町立小学校及び中学校の休業日の変更について説明

新学習指導要領に基づき、小学校の英語の授業時数が増える中で、どのように授業時数を確保していったら良いか検討したところ、いくつかの対応策のうち、8月の夏季休業を短縮することを基本として、授業時数を確保していきたいと考えております。

湯川町長

ただいま石田教育長から説明がありましたが、ご意見、ご質問などがありましたら発言をお願いいたします。

野地委員

授業時数については、具体的に言うと年間35時間増えることになります。学校では年間を35週として授業時数を算出していますので、週に1時間増やさな

ければならない計算になります。現状は、週5日間の内、月曜日、火曜日、木曜日、金曜日が4年生以上、または3年生以上が6校時行っていますので、水曜日を6校時にしないと授業時数は確保できないという状況となり、そのように普段の日の先生方や子ども達への負担を考慮すると、夏季休業の短縮はやむを得ないと考えています。給食費については、4,000円というのは安い方だと思いますので、値上げも致し方ないと思います。

岡部委員

夏季休業の短縮については、教育委員会でも説明を受けましたが、致し方ないと考えます。給食に関しましては、学校訪問の際に私も食べさせていただきましたが、よくこの金額で実施しているなと感じたところです。質を落とすことはよくありませんので、値上げもやむを得ないと考えております。

小菅委員

普通教室にエアコンが設置されて、夏場でも快適に授業が受けられると思いますので、夏季休業が減ることは致し方ないと考えております。給食費につきましても、無駄にならないよう食材を確保し、その中で美味しい給食を作ることがいかに大変か分かりますので、月300円の値上げは致し方ないと思います。

今村委員

保護者の立場からしましても、夏季休業を5日間短縮することに賛成します。給食に関しましても、子ども達はとても美味しいと言っていますので、給食の質を落とさないのであれば値上げも致し方ないと考えております。

石田教育長

文部科学省では授業時数を増やすための方策として、土曜スクールも推奨していますが、土曜スクールがある週の休みが1日となってしまうため、子ども達や先生方にも負担がかかることから、学校では土曜スクールは避けたい、夏季休業の短縮の方が良いといった意見が多いのが実情であります。

湯川町長

それでは続きまして、その他に委員の皆様方から、教育の諸課題について、ご意見、ご提案などがありましたら発言をお願いしたいと思います。

野地委員

現状より授業時数が35時間増えるという中で、先生方にかかる負荷が非常に大きくなるのが懸念されております。遅くまで残業している先生方に早く帰ってくださいとは中々言えない状況であり、仕事を減らさないことには働き方

改革につながっていないと思います。昨年度教育委員会で、時間外勤務の調査を実施していると思いますが、その結果を見ても、過労死ラインと言われる残業月80時間を超えているという状況は何とかしてあげなければならないと、現場にいたものとしては切に思うところです。

できることの一つとしては、一学級の児童、生徒数を減らすことで、負担を少なくすることが考えられます。それが難しいのであれば、教職員の増員、又は教職員が学級の仕事に係る時間を確保できるよう補助員の増加、こういったことについて、学校の現場も含めて議論していかなければならないと考えております。

石田教育長

昨年度、県内の小中学校で1週間期間を設け、勤務時間の実態調査を行いました。山北町では1校が指定されましたが、3校全てで調査を行いました。その結果、1週間の調査数の4倍の数字ではありますが、いわゆる過労死ラインと言われる残業月80時間を超えたのが、山北中学校で教職員23人のうち13人、川村小学校で22人のうち11人、三保小学校で12人のうち1人という結果でした。この結果を受けまして、教育委員会や校長園長会で色々と話し合い、改善策を講じたところ、先生方が早く帰宅するような状況も見受けられるなど、改善が見られるようになってきましたが、まだまだ充分ではないと思いますので、更なる具体的な施策が必要かと考えております。

岡部委員

先生方から、部活の顧問、副顧問になると、土日がほとんど出勤となってしまうため、引率してくれる外部指導者がいてくれれば本当に助かるといった話をよく聞きます。しかしながら、予算の関係や引き受け手の話もあるので、現実的には中々難しいとは思いますが、何とかしてあげたいとも考えます。

小菅委員

顧問の先生が競技経験のある人であれば、指導も充実するし、親としても試合を見に行くのが楽しい面がありましたが、競技経験がない先生ですと、競技レベルが下がってしまう状況も見受けられましたので、保護者の中でも外部指導者をお願いできないか、どうしたら頼めるのかという声はありました。

専門外でもよく勉強されて指導いただける先生であれば良いのですが、本来の業務が忙しく中々そこまではできない先生が多いのが現状だと思います。

また、補助的に入ってもらえる方がいられるのであれば、部活だけでなく勉強の方も見ていただけると非常に良いのではないかと思います。

今村委員

先日学校訪問をさせていただきましたが、先生方の授業方法や、児童、生徒の授業の様子などを拝見して、先生方も非常によく考えられて授業をされているなといった印象を受けました。

個人的には美術が専門分野なので、興味深く拝見させていただきましたが、美術教育に対する先生方の考え方について、もう少し改善した方が良いのではないと思う点がありました。

まず、美術は準備に大変手間暇がかかりますので、それらをスムーズに行うことができれば、先生方の負担も減ってくるのではないかと思います。

また、負担が軽減されれば、次は授業の質を上げていかなければならないと思います。美術も一つの学問ですので、子ども達に善し悪しを伝えていかなければならないと考えています。

教育センターへ視察に行った際に、学習指導案を拝見させていただいたところ、最終的に子ども達が自分達の作品を見て話し合うだけで終わっているように感じました。先生から何処が良くて悪いのか、最終的に講評という形で子ども達に説明できれば良いのではないかと感じており、三保小学校ではそのような話をさせていただいたところです。

石田教育長

授業力を高めるためには、指導方法を向上していかなければならないと思います。先日、山北中学校で道徳の研修講座がありました。かつての道徳は、読み物資料を読んで感想を言うところで終わっていましたが、最近ではそこから自分の考えを積極的に発言し議論する、そのような授業に転換してきておりますので、今村委員が話されたように、授業そのものの質を上げる、先生方が良い授業をすることで学力向上にも結び付くものと考えております。

そのためには、先生方の研修が重要であります。今村委員から教育センターを訪問されての感想ということでしたが、まさしく教育センターは先生方の研修の場ですので、そのような所を活用して力をつけていくことが重要と考えております。

湯川町長

他にはいかがでしょうか。

石田教育長

東京 2020 オリンピック・パラリンピック関係についてですが、山北町の子ども達は何らかの形で関わりを持てるよう、企画政策課と教育委員会が連携して取り組んでいきたいと考えております。

瀬戸参事

東京 2020 オリンピックの自転車ロードレース競技において、山北町を 1.6 km通過することが決定しましたので、町としても色々とできることを考えていきたいと思っております。残念ながら、スタートゴール地点の自治体とは異なり、実施できることにも制約がある中ではありますが、子ども達を含めて町民の皆様の機運が高まるような普及啓発事業などについて、来年度予算の中で計上していきたいと考えております。

湯川町長

応援できるスペースもないのが実情ですが、何か良いアイデアがあればお寄せいただきたいと思います。

それでは、教育の諸課題については以上とさせていただきます。本日の会議の議題はこれですべて終了となりましたので、進行を事務局にお返しします。

5 その他

事務局

次回の会議日程ですが、2月の中下旬を予定しています。具体的には改めて調整をさせていただき、ご連絡させていただきます。

なお、本日ご説明いたしました教育大綱の改訂につきましては、今後の第5次総合計画後期基本計画の見直し状況と合わせた中で素案などを作成し、早ければ次回会議でお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック関係で何か良いご提案がありましたら、次回会議で伺いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

岡部委員

教育大綱については、どの時点で改訂することになるのでしょうか。

事務局

次回会議の場での決定は難しいと思いますので、委員の皆様からご意見を伺った後に、何らかの形で委員の皆様にお認めいただいた中で改訂し、新年度新たな教育大綱を元に、教育行政を進めていただきたいと考えております。

石田教育長

後期基本計画が固まり、それに基づいて教育大綱を改訂しますので、多少見ていただく時間は必要であると思います。その辺りは臨機応変に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

6 閉 会 参事兼企画政策課長

以 上